

言語聴覚士が行う摂食訓練

～食物を用いたリハビリテーション実施のポイント～

講師 **柴本 勇**先生 (聖隷クリストファー大学)

2024 **8/25** (日) 13:00~15:30 オンライン開催

わが国の摂食嚥下リハビリテーションでは、伝統的に「段階的摂食訓練」が多く用いられてきました。段階的摂食訓練は、嚥下障害か否かを見極めて難易度の低い食物から開始し、食物物性、姿勢、1口量、リハビリテーション手技を変更して最終的に普通食を目指す方法です。この方法は、安全に摂食をするという方法であり、難易度が上がった方は機能も高まるという点で素晴らしい方法と言えます。近年は様々な治療法が考案され多角的なアプローチが出来るようになりました。基礎的嚥下訓練においても摂食訓練においても目的指向的なアプローチが行われます。私たち言語聴覚士が摂食訓練を実施する上でも、安全な摂食をすることで全般的な機能を高めるというこれまでの方法と同時に、食物を使って特定な機能のリハビリテーションに焦点を当てるということも行われます。本セミナーでは、食物を用いて個々の機能にどのようにアプローチするかについてみなさまと一緒に考えたいと思います。加えて、摂食訓練中に患者様はどこを見て摂食していらっしゃるか、機器を使って可視化し受講生のみなさまに供覧いただくことを計画しています。更には、近年注目されている表面筋電バイオフィードバック手技を摂食訓練にどのように取り入れるかについてもご紹介したいと思います。

対象 言語聴覚士 ほか

定員 250名

申込方法 当研究会ホームページまたは右記のQRコードからお申し込みください。

参加費 当研究会会員：無料 会員外：3,000円

※会員として参加される場合、8/16(金)までに入会手続きをお済ませください。

申込締切 2024年8月22日(木) 定員になり次第締め切ります。

